光林寺寺報　第31号　令和7年8月9日発行

なますて

नमस्ते ※「なますて」とは･･･ インドのあいさつで「おはよう」や「こんにちは」の意味で使われます。
我々の称える「南無」の語源とも言われています。

令和12年（2030）
光林寺は開山750年を迎えます！

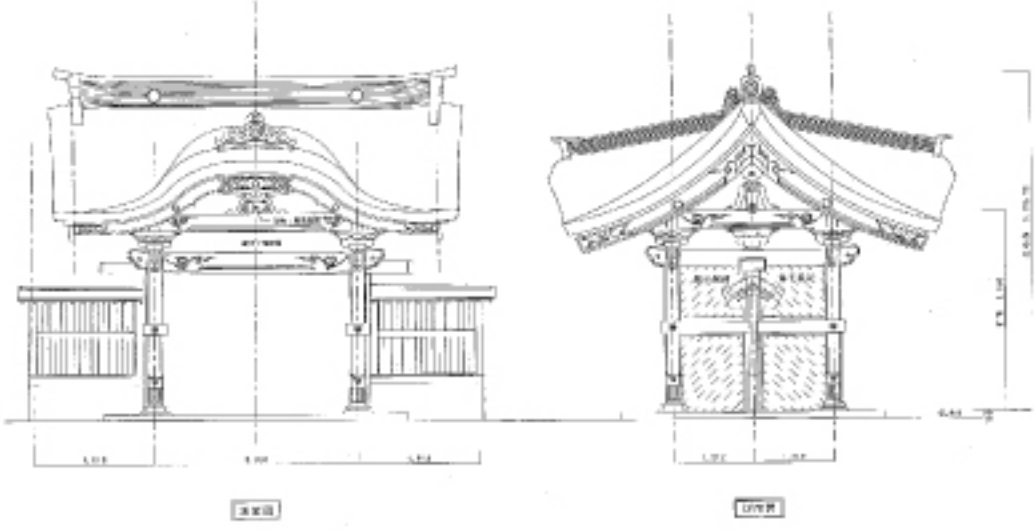
当山は鎌倉時代の末、弘安3年(1280)に創建され、令和12年に開山750年を迎えます。

江戸時代には第16代住職が本山の上人に就任し、その際東山天皇から勅額を賜るなど大変由緒ある寺として知られ、その面影は随所に伝えられております。

この記念すべき年を迎えるにあたり、その格式にふさわしい山門の建設や本堂内陣（天井等）の修繕工事を実施するとともに、檀信徒の皆さんがお参りしやすくするためのバリアフリー工事などを行いたいと考えております。

完成の暁には、総本山より遊行上人をお迎えし、皆さんと共にお祝いするとともに、第33代住職の晋山式も併せて行いたいと思っております。

去る6月28日に総代・組頭の説明会を開催し、諸計画のご了承を頂き、ご寄付のお願いをさせていただきました。昨今の厳しい状況もあろうかと存じますが、応分のご協力を賜りますようお願い申し上げます。 合掌



第60回記念　光林寺寄席

今年も6月22日に第60回を記念して盛大に開催させていただきました。振り返れば、昭和57年（1982年）に故永六輔氏の声かけで始まったこの落語会も足掛け43年。皆様のご支援・ご協力のおかげで継続出来たのだと思います。心より感謝申し上げます。当日は天候も良く160名を超える皆様にご来場いただきました。

今回お呼びしたのは、『柳家さん喬』師匠と『林家正蔵』師匠のお二人。

さん喬師匠は今回でなんと14回目のご登場となりました。現在落語協会会長の要職にあり、まさに落語界の第一人者としてご活躍中です。

正蔵師匠は第39回（H15・2003年）以来22年ぶりのご登場です。前回は『正蔵』襲名前で『こぶ平』でのご出演でした。現在は落語協会副会長として全国各地の高座に上られております。

そうです、落語協会の会長と副会長の超豪華な『二人会』が実現しちゃったんです!!!!!（驚）

そんな超豪華な記念寄席の演目は『お菊の皿』（正蔵）、『井戸の茶碗』（さん喬）、中入り後、『ちりとてちん』（さん喬）、『鼓ヶ滝』（正蔵）の四席でした。どの噺も記念寄席にふさわしい素晴らしい高座でした。（感動）

また、今回も裏千家髙橋宗章社中の皆さんにお茶席のご協力をいただきました。ありがとうございました。

↑柳家さん喬　師匠

↑林家正蔵　師匠

↑満員の客席

↑お茶席の様子

↑髙橋章子社中の皆様

御詠歌研修旅行

6月17日に光林寺御詠歌会の研修旅行を実施致しました。コロナ禍等もあり、実に8年ぶりの開催です。20名の講員の皆様にご参加いただきました。

今回は岩手県を飛び出し、お隣秋田県の横手市南郷温泉共林荘に行ってきました。バス車内にて御詠歌の研修（練習）をしながら目的地へむかいます。練習後はみんなでお菓子を食べながら和やかに過ごしました。

1時間ほどで共林荘に到着し散策、入浴、お食事を楽しみました。お風呂もとてもいい温泉でお食事も地元産の行者にんにく味噌や葉わさびを使ったお料理などとても美味しかったです。

共林荘のあとは「道の駅さんない」に立ち寄る予定でしたが、なんと年に1回の設備メンテナンスによる『臨時休業』。(´д`)少しがっかりしつつも錦秋湖サービスエリアにて休憩しつつ無事光林寺へと帰りつきました。

6月ながらなかなか暑い日でしたが楽しい旅行となりました。今後、御詠歌研修旅行を計画致しました際は、奮ってご参加の程、よろしくお願い致します。また、今回ご参加下さいました皆様ありがとうございました。

車内での御詠歌練習

共林荘での昼食

令和7年秋季開山忌のご案内

日時　令和７年11月23日（日・祝）

午前　９時50分　　御詠歌奉詠
午前10時30分　　ご法話
午前11時00分　　開山忌法要

◎開山忌宝物庫一般公開（午前中）

※次回の開山忌の塔前（当番）地区は
南寺林・桜渕・黒沼地区の皆様です。

境内草刈り奉仕

今年も境内の草刈りを7月27日に実施していただきました。

これは元々、四年に一度回ってくる開山忌当番の総代組下のみなさんに豊沢の光林寺公園へのお参りを兼ねて、草刈りをしていただいておりましたが、林道の整備が整わず、やむなく中止しました。(石碑は花巻大曲線沿いの豊沢平和郷公園に移転済み。)

そこで、このローテーションを生かして、去年よりお盆前に境内の草刈り奉仕をしていただくことになりました。今年は、春と秋の開山忌当番である好地・南寺林・桜渕・黒沼地区の皆様合わせて約20名の方々のご協力を頂きました。

暑い時期ですが早朝の2時間ほど御協力を頂きました。本当にありがとうございました。

☆お墓まいりの際の注意事項について

近年、お墓まいりの際にお供え物等の放置や不法投棄、無分別等、一部の参拝者のマナー違反が目につくようになってまいりました。

ご自身のご先祖様への感謝の気持ちと同様に他の参拝者の皆様への心遣いもよろしくお願い致します。

また、近年、熊や鹿などの野生動物との遭遇による人的被害が増加しており、供物等に引き寄せられる事も想定されますのでご注意下さい。

◎可燃・不燃にかかわらず、御供物などは、すべてお持ち帰り下さい。

◎生花や雑草は持ち帰りいただくか、分別の上、墓地西端の草捨て場へお持ち下さい。